

ごあいさつ

慈光照護のもと、皆様ご清祥のことと存じます。皆様には平素より慶念寺の護持発展にご理解とご協力をいただき、有難うございます。

さて、慶念寺の宗教法人化に伴い、本山との包括関係を結ぶにあたり、現状の御本尊では木仏点検の基準に適合しないことがわかりました。つきましては、この度あらためて三重県のお寺より阿弥陀如来立像をお迎えいたします。

長年三重の地で門信徒によって守ってこられたのですが、寺院の統廃合に伴い、ご本山の法物承継制度を用いて、慶念寺で引き継ぐことになりました。まことに尊いご縁をいただき、有難いことであります。

これから慶念寺で永代にわたってご安置するためにも、一度解体して由来を調べ、完全修復を行いたいと考えております。

慶念寺の船出に伴い、新たな御本尊をお迎えするという事業を、今まで慶念寺を支えてくださった皆様と執り行わせていただけますと幸いです。

この度の事業は、あくまでも任意でのご協賛ですので、ご協力をいただける方は是非ともご連絡ください。どうぞ、よろしく願います。

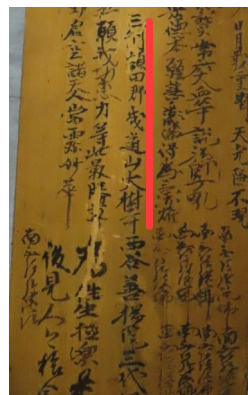
慶念寺住職 小林賢五 拝
合掌

お迎えする御本尊の胎内

寄木造りで作成されているため、このように胎内に文章が残されています。巻物（写真右）も収まっています。



文章から、徳川将軍家菩提寺である三河額田郡成道山大樹寺の由来であることが確認できます。



修復の為に、御本尊を解体したところ、胎内(お体の内側に)に経文(重誓偈)が書かれ、中には巻物が入っているようです。おそらく、この御本尊が作製される際に書かれた物と思われます。

文章から正保3年(1646年)に作製されたこと。そして、徳川将軍家菩提寺であり、今年の大河ドラマにも登場する「成道山大樹寺」の記載も確認できます。今後、由来に関しても調査を進めていく予定です。

ご懇志の御礼として

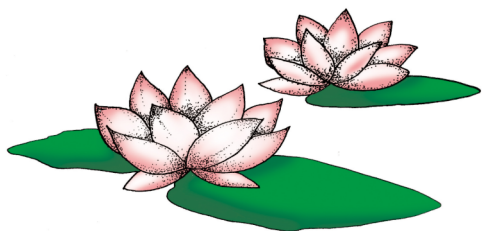
一万円以上のご懇志で、お名前を残させていただきます。

この度のご修復に際して、右の写真の巻物と共に内部に納める巻物を新たに作成することになっております。

内容は、お迎えの経緯、慶念寺の歴史、ご懇志進納者のお名前を明記する予定です。

ご夫婦と、ご家族と、故人様やご法名など、ご希望の名前を記載させていただきます。また、御本尊をお迎えする法要の際には、ご懇志を頂いた方のお名前全てを表白にて尊前に御奉告申し上げます。

※詳しくはHP内特設サイトをご覧ください。





御本尊修復協賛のお願い

ご懇志の納入方法

～直接お持ちいただく場合～

事前にご連絡の上、慶念寺にお持ち下さい。
(連絡がない場合、留守にしていることがあります) また、その際にどなたのお名前を記載したいかをお伝えください。

～郵便で送る場合～

下記の住所に現金書留にてお送りください。
また、中にどなたのお名前を記載するかを記入した紙を同封して下さいます様、
お願いいたします。領収書をお持ちいただきましたら、郵送費は負担いたします。

～銀行振り込みの場合～

川崎信用金庫 中野島支店 (021)

口座番号 0795963

名義 慶念寺 小林賢五

にお振込ください。振込手数料は負担いたしますので、手数料を差し引いた金額をお振込ください。また、振込後どなたのお名前を記載するかをお伝えください。(電話・メール・Fax等)

〒214-0012

神奈川県川崎市多摩区中野島4-24-2-5

浄土真宗本願寺派

慶念寺

TEL 044-819-5482

Fax 044-819-5538

新たにお迎えする御本尊



御本尊の全体傾きや、腕の欠損、蓮台(台座)にもゆがみが出ており、彩色の剥落も多数見られます。

この度の修復では、こちらの御本尊を解体して、漆・金箔を貼り直す完全修復を行い、作製当初のおすがたにもどす完全修復を行います。